

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成23年4月21日(2011.4.21)

【公開番号】特開2010-99074(P2010-99074A)

【公開日】平成22年5月6日(2010.5.6)

【年通号数】公開・登録公報2010-018

【出願番号】特願2009-276020(P2009-276020)

【国際特許分類】

|         |        |           |
|---------|--------|-----------|
| C 1 2 N | 15/09  | (2006.01) |
| C 0 7 K | 14/415 | (2006.01) |
| A 0 1 H | 5/00   | (2006.01) |
| A 0 1 H | 1/00   | (2006.01) |
| C 1 2 Q | 1/68   | (2006.01) |
| A 0 1 H | 5/12   | (2006.01) |

【F I】

|         |        |         |
|---------|--------|---------|
| C 1 2 N | 15/00  | Z N A A |
| C 0 7 K | 14/415 |         |
| A 0 1 H | 5/00   | A       |
| A 0 1 H | 1/00   | A       |
| C 1 2 Q | 1/68   | A       |
| A 0 1 H | 5/12   |         |

【手続補正書】

【提出日】平成23年2月28日(2011.2.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

配列番号183に少なくとも91%の配列同一性を有する、単離核酸分子。

【請求項2】

配列番号183である、請求項1の単離核酸分子。

【請求項3】

請求項1の核酸分子で形質転換したトランスジェニックタバコ植物。

【請求項4】

核酸分子が配列番号183である、請求項3のトランスジェニックタバコ植物。

【請求項5】

トランスジェニックタバコ植物を产生する方法であつて：

(i) 請求項1の前記核酸分子を、前記植物において機能するプロモーターと、機能可能であるように連結して、植物形質転換ベクターを生成し；

(ii) 複数のタバコ植物細胞を、工程(i)の前記植物形質転換ベクターで形質転換し；

(iii) 前記形質転換植物細胞から複数の形質転換タバコ植物を再生し；そして

(iv) 前記核酸を発現している、少なくとも一つの前記形質転換タバコ植物を同定する；

工程を含む、前記方法。

【請求項6】

前記核酸分子がアンチセンス方向である、請求項5の方法。

【請求項7】

前記核酸分子がセンス方向である、請求項5の方法。

【請求項8】

前記核酸分子が二本鎖RNA分子として発現される、請求項5の方法。

【請求項9】

前記核酸分子が配列番号183である、請求項5の方法。

【請求項10】

植物におけるノルニコチンレベルを減少させる方法であつて：

(i) 請求項1の前記核酸分子を、前記植物において機能するプロモーターと、機能可能であるように連結して、植物形質転換ベクターを生成し；

(ii) 複数のタバコ植物細胞を、工程(i)の前記植物形質転換ベクターで形質転換し；

(iii) 前記形質転換植物細胞から複数の形質転換タバコ植物を再生し；そして

(iv) ノルニコチンレベルが減少している、少なくとも一つの形質転換タバコ植物を選択する；

工程を含む、前記方法。

【請求項11】

前記核酸分子がアンチセンス方向である、請求項10の方法。

【請求項12】

前記核酸分子がセンス方向である、請求項10の方法。

【請求項13】

前記核酸分子が二本鎖RNA分子として発現される、請求項10の方法。

【請求項14】

前記核酸分子が配列番号183である、請求項10の方法。